

## シリーズ 社会福祉法人の力を地域に

### ～社会福祉法人の地域における公益的な取組を紹介～

社会福祉法が改正され、すべての社会福祉法人は、「地域における公益的な取組」を行うことが責務として規定されました。社会福祉法人の公益性・非営利性など、その本旨に従い、他の事業主体では困難な福祉ニーズへの対応が求められています。

#### 「世代間交流×保護者支援×食品ロス ～SDGs グループ～」

#### 社会福祉法人いしかわ福祉会 (白山市社会福祉法人連絡会)

##### 全法人参画型で

令和4年9月に設立した白山市社会福祉法人連絡会では、参加22法人がスピード感を持ち、様々な取組を効果的に実施するため3つのグループを立ち上げ活動しています。

そのなかの1つ『SDGs グループ』では、市内の農家などから規格外野菜を買取販売する取組を始めました。

##### 白山市社会福祉法人連絡会

グループ名	主な取組み
フードドライブグループ	福祉まつりで食品募集、施設を窓口職員・利用者・住民から食品募集
SDGs グループ	食品ロス目的に施設で規格外野菜販売
情報発信PRグループ	インスタグラム開設、連絡会の活動を発信

##### 身近なSDGs活動からを身近に感じて

会員法人である社会福祉法人いしかわ福祉会「いしかわこども園」では、10月の土曜日に開催されたふれあいバザーの一環として野菜販売を行いました。

SDGs グループから紹介を受けたJA松任、リハスファーム、園と以前から交流のある安田農園、ふれあい農園の4団体から規格外野菜を法人が買い取り、安価で販売しました。

当日は、こども園を利用する保護者や家族だけでなく地域住民も来場し大盛況でした。



園内には多くの家族連れや地域の方々に賑わいました

##### 笑顔あふれる取組を

いしかわこども園中川茂乃園長は、「野菜販売は、農家の廃棄野菜の削減、保護者の生活支援、こどもたちのエコ活動、普段こども園に来所されない地域住民への開放など、たくさんの効果があります」と話されていました。

また、法人連絡会で先に開催した法人へ見学にも行き、雰囲気や方法を見ることができ不安も軽減されたそうです。

法人連絡会のバックアップで新たな取組にチャレンジでき、お互いに知恵を出し合いながら地域に喜ばれる取組を続けていきます。



野菜の袋詰め、販売は保育士の先生方が担当しました。



二又に割れた大根を見て「今にも走り出しそう！」と声があがっていました

【問い合わせ】(社福) いしかわ福祉会 TEL 076-277-1011

(社福) 白山市社会福祉協議会 TEL 076-276-3151

◇◇◇地域における公益的な取組をシリーズで発信していきます。情報をお寄せください。◇◇◇